

課題のデザイン

高岡市デザイン・工芸センター

高岡市デザイン・工芸センターが実施する製品開発研究会「課題のデザイン」が2年の事業期間を経てこのほど最終成果展示を行う。

この事業は高岡の伝統産業における新産業創出を目指し、平成11年度からおおむね2、3年ごとにテーマを変え製品開発研究会として実施してきた。監修者にはデザイナーの安次富隆（あしとみたかし）さんを招き、地場企業のデザイン商品開発と市場開拓における「自活力」を育成するために参加者が自らデザインや製品開発に取り組む。現在までに市内からのべ100社ほどが参加してきた。

今回のテーマ「課題のデザイン」はデザインによる課題解決を図る取組みとして高岡の伝統産業界から課題を持った高岡銅器の間屋、メーカー、高岡漆器の職人やデザイナーなど12社14名が集まり、平成29年5月から研究会を開始した。

従来の銅器製品の販売が落ち込む中、銅器間屋はファブレスメーカーとしてどういうアプローチをしていけばよいかヒントを得ようと研究会に参加した(株)竹中銅器の喜多登さん。普段の業務ではインハウスデザイナーとして、カタログ製品（従来の高岡銅器製品）・特注の銅像などについて、製造現場と外部デザイナー、



プロジェクトの流れ

一年目（平成29年度）

各自の課題紹介

企業訪問、ヒアリング

課題、デザイン・企画案決定

試作品製作

ブラッシュアップ

二年目（平成30年度）

試作品検討

ブラッシュアップ

仕様、価格等決定

試験販売 10月7日～3月25日

試作品検討、展示計画

成果展示 3月16日～3月25日

との通訳的な役割を担っている。

研究会では「間屋の優位性は素材の選択が自由なことであり、そのためにはメーカーや職人からのリサーチ力が今後の鍵を握る」という監修者である安次富さんのことばから、取組みテーマを「素材の発見を活かしたデザイン」とした。この研究会で(株)桜井孝一社長と出会い、鑄造技術を用いたときに表現できる鑄肌いばだを活かしたわさびおろしを共同で開発。（左ページ写真）従来の金属製おろし器具のように目立てによっておろし目を作るのではなく、高岡銅器のざらつとした鑄物砂のテクスチャーをそのまま生かすことでわさびをすり下ろすことができ、尚且つおろし目のパターンに裝飾性を持たせることもできるという今までにない発想の製品が完成した。

「課題そのものをどうデザインするかがこの研究会『課題のデザイン』の意味であり、課題を突き詰めていくことで解決のためのデザインやものづくりの方向性が見えてくるはず。デザインは目標達成のための行為そのものである。」と安次富さんは語る。課題のデザイン研究会は単に製品を「デザイン」し「つくる」のではなく、「何がどう自社にとって課題なのか」「それは本当の課題なのか」を自らに問い直すきっかけとなった。また、「個々の企業が自社の課題を他の作り手、売り手と共有することで、解決へのヒントが得られ、お互いの強みを活かした協力関係になれるのが高岡の面白さ。」とも安次富さんは語る。様々な立場のメンバーが集まったことで、この事業は産地全体の課題解決への小さな一歩になったのかもしれない。

「課題のデザイン展」では喜多さんが手がけた製品のほか、約20点が課題解決のための製品・デザインとして展示される。

こんな風に解決
しました

鑄肌で食材をおろす「おろし板」

素材の発見
を活かしたデザイン



1

私が取組んだ
課題はこれです

木地の木目を活かした食器の制作

自分が
欲しい漆器



2

楽しみながらアイデアを商品化

一人
商売の
楽しい経営



3

螺鈿の新分野への応用「螺鈿インターホンパネル」

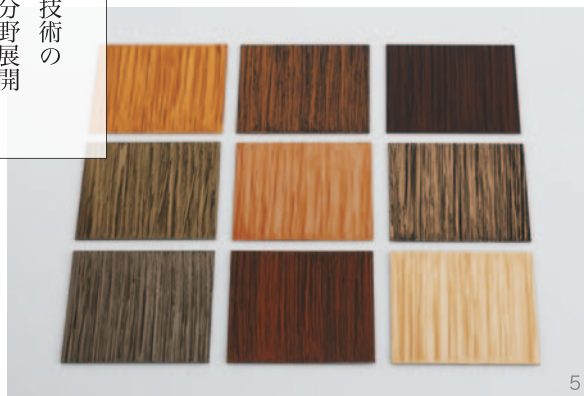
・地域と関わるデザインの仕事
・金属に螺鈿の魅力をつつす



4

「意匠塗装」アーカイブプロジェクト

塗装技術の
新分野展開



5

- 1 おろし板 | (株) 竹中銅器 × (株) 桜井鑄造 | ¥10,000 円～(税抜)
- 2 鍛木皿 (たんもくざら) | (株) 駒井漆器 | ¥4,600 円～(税抜)
- 3 プチフルール、プチパズ、プチプレート | (株) 秀正堂 | ¥2,500 円～¥4,600 円 (税抜)
- 4 螺鈿インターホンパネル | (株) ナガエ × 武蔵川工房 | 参考価格 ¥30,000 円～(税抜)
- 5 意匠塗装 | (株) 宮越工芸

上記掲載商品はほんの一部です。すべての商品は「課題のデザイン展」にてお披露目します。

「課題のデザイン展」

- 日時 平成 31 年 3 月 16 日 (土) ～ 25 日 (月) 10:00 ～ 18:00
- 会場 (株) 能作 本社内 NOUSAKU CUBE (富山県高岡市オフィスパーク 8-1)
- 内容 新クラフト産業・デザイン育成事業「課題のデザイン」平成 29・30 年度における開発品、パネルなどの展示。
一部商品は、(株)能作 本社ロビーにて販売。
- 参加 14 名 (12 社)
- 監修 安次富隆 [プロダクトデザイナー、多摩美術大学教授]
- 主催 高岡市デザイン・工芸センター